

ることの大切さ、  
謝の気持ちを実感できる

## マルサマルシェ

- 1 地元で取れた新鮮な食材を使った料理
- 2 季節のフルーツ狩り・農業体験が可能

マルサマルシェでは、柿狩りやピザ作りを体験。そして、焼きたての柿ピザを食べながら、山梨在住のママたちと座談会を行いました。「保育施設は?」「補助制度は?」など、たくさんの質問が飛び交うなか、ブロガー3人がいちばん注目していたのは、「子育て支援センター」。笛吹市内だけでも7カ所あり、どこもフレンドリーな雰囲気。サークル活動やイベントも盛んなのだそう。



山梨は空気もおいしいし、食べ物もおいしい! 大人も子どもも楽しめる体験イベントがたくさんあるから、観光をきっかけに山梨のよさに気づけますね。山梨在住のママの話も、とても興味深かったです (大西さん)



「マルサマルシェ」DATA  
農業生産法人マルサフルーツ古屋農園  
マルサマルシェ クッキングスタジオ  
〒405-0073  
山梨県笛吹市一宮町末木238  
☎0553-47-4447  
営業時間 9:00~17:00  
定休日 月曜日(季節により変更あり)  
<http://www.marusa-marche.com/>

## 悩むママを癒やす

### 山梨県産後ケア事業運営事業者 健康科学大学 産前産後ケアセンター

- 1 ママ&子どもの心と体に寄り添う滞在型産後ケア
- 2 温泉を利用した浴室など、充実した施設
- 3 妊娠・子育てに悩むママの電話相談に24時間対応

広く開放的な食堂や、まるでホテルのような居室など、ママがゆったり過ごせるようにつくられた「産前産後ケアセンター」。滞在型産後ケアは宿泊型、日帰り型が選べ、悩みに応じた個別ケアや健康教室も行っています。「産後はどうしても赤ちゃん中心の生活に。そのうえ、初めての育児ともなれば、不安や悩みをママが1人で抱えてしまうことも。でも、子どもの幸せのためには、ママ自身が元気でなくっちゃ! 私たちは、そんなママたちの駆け込み寺のような存在になれたらいいなと思っています」(榎原まゆみセンター長)。



▼石和温泉の源泉を利用した、ジェットバスつきのお風呂。居室や浴室のある2階のホールには助産師が常駐しているので、希望すれば沐浴指導を受けることもできます。さらに、センターの中庭には足湯も設置。滞在したママたちがおしゃべりを楽しみたい場になっているそうです



長男を出産したときのことを思い出しました。初めての育児って、本当に不安で、泣きたくなるときもありますよね……。実際に利用しても、しなくても、近くにこういった施設があることを知っているだけで、気持ちが楽になるんじゃないかと思えます (中野さん)



「産前産後ケアセンター」DATA  
山梨県笛吹市石和町窪中島587-112  
[www.kokudai.ac.jp/sangocare/](http://www.kokudai.ac.jp/sangocare/)  
電話相談 ☎055-269-8110(24時間対応)

## 今日のまとめ

### 「山梨は親にも子にもやさしい! 住みたくになりました」

県民の声を取り入れた、新しい取り組みがどんどん増えている山梨県。「こんなにも、子どもたちを温かく見守っていて、ママにやさしい県だとは知らなかった!」と、3人も驚きを隠さない

様子。今後はリアモーターカーも通り、ますますアクセスがよくなること。「子育て移住で山梨に住みながら都内に通う」という住環境の選択肢が広がる日も、近いかもしれません。



## ツアーを開催!

暮らし支援センターへ

amanashi-  
rashi/



## 子育て環境日本一をめざしてる!

# ママと子どもにもやさしい県・ 山梨の子育て施設を

見てきたよ!

## レポート

富士山、八ヶ岳、南アルプスなど、豊かな自然環境に恵まれた「山梨県」。都内への利便性が高く、住みやすさも◎。そのうえ、子育て環境も充実しているらしい……! そこで、東京都在住のサンキュ!ブロガーたち3人が山梨の子育て施設を見学するバスツアーに参加。その様子をレポートします。

子どもがのびのびと過ごせるよう、  
建物づくりにもこだわった

### すみよし愛児園

ママと子どもに  
やさしいポイント

- 1 保護者の思いがたくさん詰まった広い園庭
- 2 子どもの心の発達をサポートする園舎
- 3 栄養だけでなく、味覚も学べる給食

- (左) サンキュ!トップブロガー  
中野めぐみさん  
(東京都 35歳)  
(中) サンキュ!トップブロガー  
大西紀映さん  
(東京都 29歳)  
(右) サンキュ!ブロガー  
Tokoさん  
(東京都 31歳)



引っ越したくなったりして……!



県を挙げて福祉に取り組み、地域の連携も強い山梨県。待機児童ゼロというだけでなく、快適に学べる園舎や緑豊かで広々とした園庭など、山梨だからこそかなえられる魅力を備えた保育施設がたくさんあります。「すみよし愛児園」もその1つ。「木を基調とした新園舎が『山梨県建築文化賞』を受賞しました。合理性だけを求めるのではなく、子どもの身体能力や心の成長を促すこだわりが、たくさん詰まっているんですよ」(矢巻行祥園長)。



山梨ならではののどかな環境、りっぱな園庭・園舎も印象的でしたが、在園児や卒園児の保護者や、地域住民と一緒に園を支えている様子にびっくり! 保育の現場を中心に、大人と子どもが温かくつながっているんですね (Tokoさん)

▲長年、子どもたちの給食を作り続けている「給食のおばちゃん」。この卒園生でもある園長も、同じ給食を食べていたのだとか。この園で長く働きたい、という職員が多いのも、「すみよし愛児園」の魅力です

「すみよし愛児園」DATA  
社会福祉法人ゆうゆう すみよし愛児園  
〒400-0851 山梨県甲府市住吉3-24-20  
☎055-237-4101



▲保護者手作りの遊具もあり、子どもを見守る思いが詰まった園庭。建て替え前の旧園舎時代から残る樹木では、木登りができるようになっていました。子どもたちの表情もいきいきと、のびのびと過ごしている様子が伝わってきます